

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

嬉野市

(都道府県:佐賀県)

1. 当該地域の情報 (2018年4月現在)

地域の課題	訪日旅行ブームを背景に当市への交流外国人は増加傾向にある。それに伴い観光面での外国人受入体制は次第に整えられて来た。しかし、従来から暮らす市内在住外国人へはまだ十分に目を向けきれておらず、当市から日常生活における様々な情報の発信は十分とは言えない状況である。特に、災害時における避難体制確立は喫緊の課題であり、当プログラムを災害時における避難体制の観点も含んだ当市独自の日本語教育体制として確立したい。
在住外国人数 外国人比率	【人数】 169人 【比率】 0.638%
在留外国人の状況	【主な国籍】 韓国・朝鮮、フィリピン、中国、ベトナム、ミャンマー、モンゴル、米国、インドネシア、ネパール、スロベニア 【在留資格】 特別永住者・永住者、技術・人文知識・国際業務、技能実習2号のロ、特定活動、日本人の配偶者、家族滞在、技能実習1号のロ、教育、研修 【滞在年数・在留期間などの状況】 特別永住者及び永住者が36.1%、技術・人文知識・国際業務及び技能実習が46.7%で全体の約8割を占めている。温泉観光地であるため技術・人文知識・国際業務でのホテル・旅館への就労が増加している。また、技能実習2号のロも増加しているものの技能実習1号のロは減少している。
在住外国人の日本語教育の現状	数年前に日本語教育が実施されたこともあったが、継続されておらず現在は実施されていない。当プログラムを足がかりに日本語教育体制の確立を目指している。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	2年目			
事業の目的	市内在住外国人を貴重な人材と捉え、彼らが当市の教育、防災、観光そして経済の発展に寄与する多文化共生のまちづくりを進めることを目的とする。			
事業の概要	「カフェこくさいじん（日本語教育）」の活動を核として地元コーディネーター（＝中心人物）の育成に努め、市内在住外国人及び彼らに関わる日本人のニーズに即した日本語教育体制を創出する。また、当プログラムの実施期間内に年間20回程度の日本語教室を市の施設において実施し、やさしい日本語教育をはじめ地元住民・文化とのふれあいを通して、参加者の相互理解を深めながら学びあうコミュニティを育てて行く。			
事業の対象期間	2018年4月～2019年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	ローカルミーティングと称した会議を開催し、日本語教室空白地域であった当市に将来日本語教室を作り出すという意思表示を示すことができた。ただし、まだ関係者のみにしか知られていないことは課題であったため、その解決に向けて県との共催で3月に講座を開催し多文化共生のきっかけづくりを行い(当市では、市国際戦略の中で日本語教育を多文化共生社会への第1歩と捉えている。)、その場で日本語教育に携わる人材の発掘も行った。先述のローカルミーティングには、市内在住外国人にも参加してもらい彼らがどのような日本語を知りたいか、日本または当市のどのような情報を求めているかを知ることができた。また、嬉野医療センターとの連携協議の結果、EPA研修生も当市の生活者であることから、当プログラムによる日本語教室を試行することもできた。			
担当 コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	貞松 明子	佐賀県日本語学習支援“カスターネット” 佐賀大学	サポーターズ担当 非常勤講師	日本語教育の指導者等の人材の養成、研修の企画・実施等
	有瀬 尚子	佐賀県日本語学習支援“カスターネット” 佐賀大学・佐賀市立本庄小学校	ビジネス担当 非常勤講師	日本語教室における学習環境の整備等
	武藤 典子	佐賀県立嬉野高等学校 佐賀県国際交流協会	非常勤講師 子どもサポーター	日本語教室の地域住民への周知、啓発活動等
	デローラ 多加子			日本語教室の地域住民への周知、啓発活動等
担当 アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	伊東 祐郎	東京外国語大学	副学長	継続 新規(2年目)
	結城 恵	群馬大学	教授	継続 新規(2年目)
	萬浪 絵理	千葉県国際交流協会	委嘱コーディネーター	継続 新規(2年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	・外部有識者であるアドバイザーの助言のもとコーディネーターとともに地域日本語教育スタートアッププログラム事業計画の検討及び検証を行う。 ・日本語教育に関する助言等： 佐賀県日本語学習支援「カスタネット」、日本語教師、佐賀県国際課 ・教室運営に関する助言等： かしま日本語教室、たけお日本語教室 ・防災教育、防災体制に関する助言等： 嬉野市総務課(防災担当課) ・在住外国人の地域行事参画に関する助言等： 嬉野市市民協働推進課(地域コミュニティ担当課)		
所属(担当課)	担当者名	職名	
佐賀県日本語学習支援「カスタネット」	貞松 明子	サポーターズ担当	
佐賀県日本語学習支援「カスタネット」	有瀬 尚子	ビギナーズ担当	
日本語教師	武藤 典子	教師	
佐賀県国際課	北御門 織絵	多文化社会コーディネーター	
かしま日本語教室	植松 芳幸	代表	
たけお日本語教室	山口 浩	代表	
嬉野市総務課	井手 孝一	副課長	
嬉野市市民協働推進課	井上 親司	主任	

(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	「カフェこくさいじん(日本語教室)」 嬉野市役所うれしの温泉観光課 ← コーディネーター(教室企画・運営) ← 佐賀県日本語学習支援「カスタネット」 佐賀県国際課 ↑ コーディネーター(教室企画・運営) ← かしま日本語教室 たけお日本語教室 ・コーディネーターを中心に教室の実施に向けて、日本語教室の内容として「標準的なカリキュラム案」を元に生活者としての外国人に必要な項目を日本語教室のテーマとして取り上げ準備・開催する。 ・ボランティア育成、教材作成： 佐賀県日本語学習支援「カスタネット」 ・相談役： 佐賀県国際課、かしま日本語教室、たけお日本語教室		
組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
佐賀県日本語学習支援「カスタネット」	—	サポーターズ担当	貞松 明子
佐賀県日本語学習支援「カスタネット」	—	ビギナーズ担当	有瀬 尚子
かしま日本語教室	—	代表	植松 芳幸
たけお日本語教室	—	代表	山口 浩
佐賀県	国際課	多文化社会 コーディネーター	北御門 織絵

4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月	・ローカルミーティング開催 (以後カフェこくさいじんに名称変更) ・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん (日本語教室) 開催	・ローカルミーティング参加 ・キックオフ会議 ・カフェこくさいじん運営	
2018年 5月	・カフェこくさいじん開催 ・ホテル鑑賞会	・カフェこくさいじん運営 ・ホテル鑑賞会に参加	
2018年 6月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催、浴衣の着付け体験、うれしカーニバル道踊り(市イベント)練習 ・市報による情報発信	・事業内容の確認・検討 ・カフェこくさいじん運営	
2018年 7月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催、七夕飾り体験 ・嬉野温泉街土曜夜市 (市イベント)に参加	・事業計画、テーマ協議、にほんごサポーター説明会の検討 ・カフェこくさいじん運営 ・嬉野温泉街土曜夜市に参加	
2018年 8月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催 ・うれしカーニバル道踊りに参加 ・市報による情報発信	・日本語教室の進め方協議、うれしカーニバル道踊り打ち合わせ ・カフェこくさいじん運営 ・うれしカーニバル道踊りに参加	
2018年 9月	・にほんごサポーター説明会 ・カフェこくさいじん開催 ・アドバイザー会議開催 ・市報による情報発信	・にほんごサポーター説明、演習 ・カフェこくさいじん運営 ・アドバイザー会議協議	★日本語教室活動状況報告及び今後の活動予定検討・助言 ★H30年度事業計画について検討・助言
2018年 10月	・にほんごサポーター説明会 ・カフェこくさいじん開催、秋まつり(市イベント)道踊り練習 ・視察研修(佐賀県鳥栖市の日本語教室とりんす) ・市内在住外国人ヒアリング調査実施 ・市報による情報発信 ・「ほっとステーション(市の政策番組)」のテレビ放映	・にほんごサポーター説明、演習 ・カフェこくさいじん運営 ・視察研修に参加 ・市内在住外国人ヒアリング調査分析	
2018年 11月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催、佐賀県主催のふれあい人権フェスタ準備 ・アドバイザー会議開催 ・秋まつり道踊りに参加 ・市報による情報発信 ・「ほっとステーション」のテレビ放映	・活動の振り返り、H30年度事業計画協議 ・カフェこくさいじん運営 ・アドバイザー会議協議 ・秋まつり道踊りに参加	★日本語教室活動状況報告及び今後の活動予定検討・助言 ★H31年度事業計画検討・助言
2018年 12月	・カフェこくさいじん開催、救急救命士を招いて応急手当の講習 ・ふれあい人権フェスタにブース出店 ・クリスマスパーティー(地域イベント)に参加 ・市内在住外国人ヒアリング調査実施 ・市報による情報発信	・カフェこくさいじん運営 ・ふれあい人権フェスタに参加 ・クリスマスパーティーに参加 ・市内在住外国人ヒアリング調査分析	
2019年 1月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催、新年会 ・武雄国際交流フェスティバルに参加(佐賀県武雄市) ・視察研修(佐賀県基山町の日本語教室あみーご) ・市報による情報発信 ・「ほっとステーション」のテレビ放映	・H31年度提案書協議、先進地視察検討 ・カフェこくさいじん運営 ・武雄国際交流フェスティバルに参加 ・視察研修に参加	
2019年 2月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催 ・アドバイザー会議開催 ・嬉野デザインウィーク忍者パフォーマンス(市イベント)に参加 ・市報による情報発信 ・「ほっとステーション」のテレビ放映	・カフェこくさいじんテーマ協議 ・カフェこくさいじん運営 ・アドバイザー会議協議 ・嬉野デザインウィーク忍者パフォーマンスに参加	★日本語教室視察並びに活動状況報告及び今後の活動予定検討・助言 ★H31年度事業完了報告書検討・助言 ★H31年度事業計画検討・助言
2019年 3月	・コーディネーター会議開催 ・カフェこくさいじん開催、カフェこくさいじんIN塩田開催 ・九州オルレフェア(市トレッキングイベント)に参加 ・市報による情報発信	・H30年度事業振り返り及びH31年度事業計画協議 ・カフェこくさいじん運営 ・九州オルレフェアに参加	

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		カフェくさいじん					
外国人参加者について		[国籍] フィリピン61名, インドネシア48名, ベトナム34名, 中国25名, ミャンマー15名, アメリカ4名, 韓国3名, オーストラリア2名, タイ1名 [属性] 技能実習生や日本人の配偶者等が主な対象			参加者数 (内 外国人数)	受講者241名 支援者366名 (日本語指導者0名, サポーター0名)	
開催時間数		総時間 35.5時間		内訳 1.5 時間 × 17回 1.75時間 × 2回 2.0 時間 × 2回 2.5 時間 × 1回			
目標		嬉野教室を月に2回程度開催 塩田教室を年に4回程度開催					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年4月10日(火) 15:00～17:00	2	嬉野交流センター	7	・カフェくさいじん (ローカルミーティング)	・自己紹介 ・意見交換①嬉野市の多文化共生について ・意見交換②嬉野市でやりたいこと	コーディネーター3名 市内日本人9名 市外日本人4名
2	2018年4月18日(水) 16:00～17:30	1.5	嬉野公民館	5	・日本の祝日 ・カルタ	・日本の祝日の種類(日本人1:外国人1で教える) ・日本の行事かるた(外国人がプレイヤー、日本人は応援サポート)	コーディネーター1名 サポーター7名
3	2018年5月16日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	8	・困った時は(通報)	・通報の仕方(救急車、パトカー、消防車の呼び方) ・各国の通報事情(状況別の通報先、有料or無料) ・人権フェスタ、うれしカーニバルへの参加決定	コーディネーター2名 サポーター15名
4	2018年5月30日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	6	・家はどこ？ ・梅雨 ・ホテル鑑賞	・家の場所を尋ね、そこにあるおすすめスポットなどについて ・梅雨とはどういったものか、この季節の風物詩について ・ホテル飛翔地へ移動し、ホテル鑑賞	コーディネーター2名 サポーター11名
5	2018年6月13日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	5	・避難所	・避難所の確認 ・注意報、警報、避難指示の種類	コーディネーター2名 サポーター10名
6	2018年6月27日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	7	・浴衣の着方 ・踊りの練習	・旅館の浴衣の着付け方法(実際の浴衣を使って) ・その浴衣を着て参加する、うれしカーニバルの踊りの練習	コーディネーター1名 サポーター15名
7	2018年7月25日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	5	・大雨 ・熱中症 ・七夕	・先日の大雨(西日本豪雨)を振り返って、どのような対応をしたか ・熱中症予防、対策について学ぶ ・七夕飾りワークショップ	コーディネーター1名 サポーター8名
8	2018年8月8日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	6	・踊りの練習	・うれしカーニバルの踊りの練習	コーディネーター1名 サポーター11名
9	2018年8月22日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	8	・自転車のルール	・日本の自転車のルール ・海外の自転車のルール(参加者の国のルール)	コーディネーター2名 サポーター5名
10	2018年9月12日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	7	・地震について	・北海道の地震を受けて、実際に佐賀で大きな地震が起きた時どんなことがあったのか ・非常用持出袋には何を入れればよいか、非常時の知恵について	コーディネーター2名 サポーター15名
11	2018年9月26日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	9	・自己紹介 ・フリートーク ・福笑い	・新規参加者の自己紹介 ・フリートーク ・体の部位の名前を覚えるための福笑い	コーディネーター1名 サポーター10名
12	2018年10月24日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	10	・インドネシアの地震について ・多言語ビンゴ ・体の名前	・インドネシアの地震を受けて、インドネシアの出身者に自分の故郷の状況を話してもらう ・各国の言語の数字を知り、それを使ってビンゴを行なう ・体の部位の名前(復習)	コーディネーター1名 サポーター7名
13	2018年10月31日(水) 19:00～20:30	1.5	嬉野公民館	6	・ハロウィンについて ・踊りの練習	・ハロウィンとは何か ・秋まつりの道踊りに参加するために踊りの練習	コーディネーター1名 サポーター9名

14	2018年11月14日(水) 19:00~20:30	1.5	嬉野公民館	5	・嬉野の長所と短所 ・世界のお茶	・嬉野の長所と短所について意見交換し、それを元に人権フェスタにて掲示することが決まる ・嬉野市は緑茶の生産地であることにちなんで、各国のポピュラーなお茶について話をする	コーディネーター2名 サポーター7名
15	2018年11月28日(水) 19:00~20:30	1.5	嬉野公民館	8	・人権フェスタ準備	・人権フェスタで掲示するポスター作成 (嬉野の長所・短所、カフェくさいじんのマイベストショット選び)	コーディネーター1名 サポーター10名
16	2018年12月12日(水) 19:00~20:30	1.5	嬉野公民館	9	・応急手当講習	・地元の消防署より救急救命士を講師に招き、AEDの使い方や人工呼吸などについて学ぶ	コーディネーター2名 サポーター9名
17	2019年1月9日(水) 19:00~20:30	1.75	嬉野公民館	11	・お正月 ・新年会	・日本のお正月の風習について学ぶ ・おせち料理や各国の料理など参加者持ち寄りの新年会を実施	コーディネーター2名 サポーター11名
18	2019年1月23日(水) 19:00~20:30	1.75	嬉野公民館	9	・お正月(復習) ・インフルエンザについて	・お正月の風習について(復習) ・インフルエンザの予防・対策と各国のインフルエンザの対処	コーディネーター2名 サポーター9名
19	2019年2月13日(水) 19:00~20:30	1.5	嬉野公民館	9	・観光	・嬉野市のおすすめスポット、どんな魅力があるか意見交換	コーディネーター2名 サポーター4名
20	2019年2月27日(水) 19:00~20:30	1.5	嬉野公民館	12	・ごみの分別	・市役所の環境下水道課の職員を講師に向かえ、嬉野市のごみの分別を学ぶ ・ごみの分別ゲーム	コーディネーター4名 アドバイザー3名 サポーター19名
21	2019年3月10日(日) 10:00~12:00	2.5	塩田公民館	26	・カフェくさいじん 交流会in塩田	・カフェくさいじん未開催だった塩田町にて交流会を開催 ・やさしい日本語講座(日本人)／切り絵ワークショップ(外国人) ・自己紹介、フルーツバスケット、フリートーク	コーディネーター3名 サポーター19名
22	2019年3月13日(水) 19:00~20:30	2	嬉野公民館	15	・一年を振り返って	・3月、4月で帰国する参加者を囲んでカフェくさいじんの1年間の活動を振り返る ・嬉野名物温泉湯どうふと持ち寄り品を囲んでお別れ会を実施	コーディネーター2名 サポーター11名

【主な活動】



4/18 カフェくさいじん
日本の行事かるた



6/27 カフェくさいじん
うれしカーニバル出場に向けた踊りの練習



11/14 カフェくさいじん
人権フェスタのポスター用のカード(嬉野の
長所と短所)についてまとめているところ

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
地域活動 (まつり等への参加)	①2018年7月21日(土) ②2018年8月10日(金) ③2018年11月3日(土) ④2018年12月8日(土) ⑤2018年12月23日(日) ⑥2019年1月27日(日) ⑦2019年2月23日(土) ⑧2019年3月3日(日)	①土曜夜市／射的や金魚すくい、ミニコンサートなど町のおまつりを体験 ②うれしカーニバル／地元住民と一緒に、チームカフェこくさいじんとして道踊りに参加 ③嬉野温泉秋まつり／地元住民と一緒に、チームカフェこくさいじんとして道踊りに参加 ④ふれあい人権フェスタ／佐賀県主催の人権フェスタへ出展。活動紹介や各国のお茶の試飲を実施 ⑤クリスマスパーティー／地元の学童保育と共にクリスマスパーティーに参加 ⑥国際交流フェスタ／武雄市で開催された国際交流フェスタにて、フラダンスや切り紙などを体験 ⑦忍者フェスタ／忍者ダンス創作コンテストに出場。最優秀賞を受賞 ⑧九州オルレフェア／嬉野市でのトレッキングイベントに、一般の参加者約200名と共に参加
にほんごサポーター説明会 (やさしい日本語講座)	①2018年9月3日(月) ②2018年10月10日(水) ③2019年3月10日(日)	カフェこくさいじんへの支援者募集のため、SUP・カフェこくさいじんの概要説明とやさしい日本語講座を実施 ①サポーター16名参加／嬉野町にて初の開催。定例の水曜日ではなく月曜日に実施 ②サポーター7名参加／嬉野町にて2回目の開催。定例の水曜日に実施し、前回参加できなかったサポーターのために同様の内容で実施 ③サポーター11名参加／カフェこくさいじん未開催である塩田町にて開催。交流会と称して、前半はやさしい日本語講座、後半は在住外国人と一緒にレクリエーションを実施
他地域視察	2019年1月27日(日)	同じくSUP2年目の佐賀県基山町の日本語教室「あみいご」を視察 基山町のコーディネーターと意見交換を行なう。

【主な活動】



8/10 うれしカーニバル
地域のおまつり(踊り)にうれしの
カフェこくさいじんとして参加



12/8 ふれあい人権フェスタ
カフェこくさいじんとして出展
世界各国のお茶をふるまう



3/3 九州オルレフェア嬉野コースへ参加
約12kmのトレッキングコースを
日本人参加者に混じって踏破

5. 今年度事業全体について

進捗状況	概ね計画通りに遂行出来た。
成果	・多分化共生講座（県共催）をきっかけに、日本語教育に携わる人材の発掘とその延長として新規のコーディネーターを確保することができた。 ・アドバイザーとコーディネーターとの振り返りや意見交換により、課題や問題点の掘り起こしと助言・指導により活動の方向性を確認することができた。 ・日本語サポーターを市報やホームページ等で募集し説明会を実施した結果、新たなサポーターも確保し安定した協力を得ることができた。 ・2年目からカフェこくさいじん（日本語教室）を実施し、やさしい日本語教室はもとより各種イベントやふれあい人権フェスタなどへの参加や体験活動に取り組み活動の可能性を広げることができた。 ・学習者との意思疎通に努め人間関係やネットワークの構築を図ることで、ある程度の学習者も定着し安定した教室運営の基礎固めができた。 ・フェイスブックの立ち上げやホームページによる広報活動により、市内外への情報発信の充実を図ることができた。 ・技能実習生や企業などへのアンケートやヒアリング調査により、在住外国人や企業のニーズや困りごとを把握することができた。
地域の関係者との連携による効果	・地域日本語教育スタートアッププログラムを実施している県国際課からもアドバイザー会議に参加してもらい情報の共有が出来た。 ・佐賀県のふれあい人権フェスタに参加し学習者が「カフェこくさいじん」の活動内容を紹介することでPRが出来た。 ・技能実習生を雇用している企業関係者が一緒に「カフェこくさいじん」に参加してもらい日本語教育に対する理解を深めてもらった。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(4H) ②体制整備のための調整(29.5H) ③人材育成のための調整(9H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(110.5H) ⑤教材作成に向けた調整(68.5H) ⑥その他(24.5H) (具体的な内容： 地域視察、イベント)
アドバイザーの主な助言	・たくさんメニューを入れ過ぎないで長いスパンでゆっくりやった方がいい ・時間をきっちり使わないで活動後には毎回フリートークを交えながら振り返りを行った方がいい ・一方的にお膳立をするのではなく皆を巻き込みながら作り上げていった方がいい ・日本語教室の活動を参加者みんなで作りあげていくなど楽しい雰囲気づくりが重要 ・地域の特産であるお茶をテーマに組み立てていくのも面白い ・アンケートやニーズ調査の結果を分析して施策に反映させていくことが重要 ・技能実習生等を受け入れる側の理解や意識改革のため企業や事業所への説明会等も必要 ・フェイスブックなどによる情報発信を継続しサポーターの確保や学習者の掘り起こしに繋げていくこと ・3年目は4年目以降のことを想定しながらコーディネーターやサポーターの人材確保と体制づくりの期間
今後の課題	・コーディネーター1名の新規増員とある程度のサポーターは確保しているものの、日本語教室の運営を主体的に担っていく人材の育成はまだ遅れている。 ・日本語教育の機会を充実させていくためには、現在開催している日本語教室（嬉野地区）に、交通手段の関係などで参加することができない技能実習生が多い地区（塩田地区）での教室開設に向けて検討する必要がある。 ・市内2か所で日本語教室を開催するためには、学習者の受け入れやコーディネーターとサポーターの育成、会場の確保などの課題を解消していく必要がある。 ・企業関係者との関係作りと協力体制の充実及び技能実習生等の掘り起こしが必要である。
今後の予定	・コーディネーターと協議した大まかな計画書をアドバイザーの助言を受けながら策定 ・日本語教室の実施（年間20回程度）、各種イベント等への参加、塩田地区でのイベント試行（年間4回程度） ・企業関係者との関係作りと技能実習生等の学習者の掘り起こし及びニーズ調査の継続、併せて場所・時間ともに多くの在住外国人が参加しやすいものへと改善 ・市報やホームページ、チラシ配布などにより日本語サポーター募集と養成講座を実施しサポーターやコーディネーターの育成 ・県国際課、県国際交流協会、佐賀県日本語学習支援“カスタネット”、大学などの関係機関との情報交換、連携強化及び先進地視察の実施 ・企業との関係づくりや企業への情報発信の実施及び連携強化 ・フェイスブック、市報、ホームページなどによる情報発信の充実

本件担当 : 嬉野市役所うれしの温泉観光課観光グループ